

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1 組：吉田幸代 （2 組：清野優斗 ）（3 組：清野優斗 （4 組：鈴木洋子 （5 組：吉田幸代 （6 組：吉田幸代 ）

（7 組：清野優斗 ）

使用教科書：（ Enrich Learning English CommunicationⅠ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】基本的な語句、文法を理解し必要な情報を正確に把握することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について、情報や自分の考えなどを話して伝え合うことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】日常的な話題や社会的な話題について、能動的に学習し新たな情報をもとに自分の知見を広げることができる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句、文法を理解して、必要な情報を聞き取り、話し手、聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し、且つ書いて伝えることができる。	日常的な話題から社会的な出来事までに関心を持ち、能動的に学習し、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し、また文章で伝え合ったりすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	Unit 1 【知識及び技能】 受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 プレゼンテーションの手法を指導、実際にプレゼンテーションをさせる ・教材 Enrich Learning English CommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えていることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの話題について情報や自分の考えなどを聞き手にわかりやすく話して伝え合おうとした。	○	○	○	11
	定期考査			○			○		○	○		1
	Unit 2 【知識及び技能】 助動詞＋受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの迷信や信念について、聞いたことを読んだりしたことを活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの迷信や信念について読み手を意識して要点や具体例を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める ライティングの指導、日本の事象について紹介する英作文を書かせる ・教材 Enrich Learning English CommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞＋受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの迷信や信念について、聞いたことを読んだりしたことを活用しながら読み手を意識してまとめることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの迷信や信念について読み手を意識して要点や具体例を書こうとした。	○	○	○	6
	Unit 3 【知識及び技能】 分詞や関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境保全に関する内容について、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書くことで読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める 公的な英文Eメールの書き方を指導 ・教材 Enrich Learning English CommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞や関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 環境保全に関する内容について、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書くことで読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書こうとした。	○	○	○	6
	定期考査			○			○		○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書							
	Unit 4 【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用して聞き手にわかりやすく伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 スピーチの手法を指導、実際にスピーチをさせる ・教材 Enrich Learning English Communication I 一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用して聞き手にわかりやすく伝え合おうとした。		○	○	○	15	
	定期考査			○			○			○	○		1	
2 学 期	Unit 5 【知識及び技能】 SVOC [分詞]，関係副詞how，助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの出来事について、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I 一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 SVOC [分詞]，関係副詞how，助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの出来事について、聞き手をひきつけながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝え合おうとした。		○	○	○	○	8
	Unit 6 【知識及び技能】 分詞構文，関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物を紹介するために、読み手を意識し情報を整理しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりして、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I 一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞構文，関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 人物を紹介するために、関連の情報を時系列でまとめ、読み手を意識し紹介できた。 【学びに向かう力、人間性等】 人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりして、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとした。		○	○	○	○	8
	定期考査			○			○			○	○		1	
3 学 期	Unit 7 【知識及び技能】 原形不定詞，仮定法過去完了，過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの構成を意識して書いたり，本論で理由を具体例とともに述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために，読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I 一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 原形不定詞，仮定法過去完了，過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの構成を意識して書いたり，本論で理由を具体例とともに述べることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために，読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとした。		○	○	○	○	8
	Unit 8 【知識及び技能】 関係代名詞what，関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と他人の生活との類似点や相違点に触れながら，メモを活用して，その概要をわかりやすくまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場面で，自分と他人の類似点や相違点に触れながら，わかりやすく話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I 一人1台端末の活用 視覚教材の利用 教材の配信、課題の提出		○		○		【知識及び技能】 関係代名詞what，関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と他人の生活との類似点や相違点に触れながら，メモを活用して，その概要をわかりやすくまとめることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場面で，自分と他人の類似点や相違点に触れながら，わかりやすく話して伝えようとした。		○	○	○	○	8
	定期考査			○			○						1	
												合 計	105	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（11a：清野優斗）（11s：鈴木洋子）（12s：吉田幸代）（15s：鈴木洋子）（1A：山本 愛）
（13s：吉田 幸代）（16s：清野優斗）（1B：鈴木洋子）（14s：清野優斗）（17s：山本 愛）（1C：吉田 幸代）

使用教科書：（APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 5文型 現在形、過去形、進行形の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在形、過去形、進行形を使って、自分や周りの人について紹介することができる。 ・自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ 新々総合英語 48グランド英文法 一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 5文型、現在形、過去形、進行形の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在形、過去形、進行形を使って、自分や周りの人について紹介することができた。 ・自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	5
	Lesson 2 【知識及び技能】 未来を表す表現 【思考力、判断力、表現力等】 ・未来を表す表現を使って、未来のことについて表現できる。 ・週末の予定について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 週末の予定について、相手に伝わりやすいよう工夫をしながら、積極的に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ 新々総合英語 48グランド英文法 一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 未来を表す表現を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・未来を表す表現を使って、未来のことについて表現できた。 ・週末の予定について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 週末の予定について、相手に伝わりやすいよう工夫をしながら、積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	4
	定期考査								○	○	○	1
	Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形 【思考力、判断力、表現力等】 ・完了形の様々な表現を使って、自分の経験を紹介できる。 ・国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、手順を追ひ、論理的に自分の考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、積極的に自分の考えを発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ 新々総合英語 48グランド英文法 一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・完了形の様々な表現を使って、自分の経験を紹介できた。 ・国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、手順を追ひ、論理的に自分の考えを発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、積極的に自分の考えを発表しようとしていた。	○	○	○	2
1 学 期	Lesson 3 【知識及び技能】 助動詞の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞を使って、自分ができることや相手への依頼等について表現できる。 ・助動詞を使って、富士山を訪れる際の注意事項について、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 富士山を訪れる際の注意事項について、助動詞を使って、相手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ 新々総合英語 48グランド英文法 一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞を使って、自分ができることや相手への依頼等について表現できた。 ・助動詞を使って、富士山を訪れる際の注意事項について、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 富士山を訪れる際の注意事項について、助動詞を使って、相手に積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 5 【知識及び技能】 受動態の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・受動態の表現を使って、様々なことについて紹介できる。 ・自分が好きな日本の食べ物について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が好きな日本の食べ物について、積極的に紹介することができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅠ 新々総合英語 48グランド英文法 一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受動態の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・受動態の表現を使って、様々なことについて紹介できた。 ・自分が好きな日本の食べ物について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、紹介することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が好きな日本の食べ物について、積極的に紹介することができた。	○	○	○	2
	定期考査								○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	言 語	交 流	書					
2 学 期	Lesson 9 【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定詞の表現を使って、活動の目的や事物の紹介をすることができる。 ・留学先に日本から持っていきたいお土産について、不定詞の表現を使って、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 留学先に日本から持っていきたいお土産について、積極的に相手に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グランド英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定詞の表現を使って、活動の目的や事物の紹介をすることができる。 ・留学先に日本から持っていきたいお土産について、不定詞の表現を使って、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 留学先に日本から持っていきたいお土産について、積極的に相手に伝えようとしていた。	○	○	○	3
	Lesson 8 【知識及び技能】 動名詞の用法とto不定詞の名詞的用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・動名詞や不定詞の表現を使って、将来の計画について表現できる。 ・災害への備えや発生時の行動について、論理的に自分の考えを、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えや発生時の行動について、積極的に自分の考えを、相手に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グランド英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 動名詞の用法とto不定詞の名詞的用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動名詞や不定詞の表現を使って、将来の計画について表現できた。 ・災害への備えや発生時の行動について、論理的に自分の考えを、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えや発生時の行動について、積極的に自分の考えを、相手に伝えようとしていた。	○	○	○	3
	定期考査								○	○	○	1
	Lesson 10 【知識及び技能】 現在分詞と過去分詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在分詞や過去分詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・出来事の順序について、現在分詞や過去分詞を使って、相手に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事の順序について、積極的に相手に説明しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グランド英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在分詞と過去分詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在分詞や過去分詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・出来事の順序について、現在分詞や過去分詞を使って、相手に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事の順序について、積極的に相手に説明しようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 6 【知識及び技能】 比較級と最上級の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較級や最上級の表現を使い、身の回りの数量の関係について表現できる。 ・ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グランド英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 比較級と最上級の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較級や最上級の表現を使い、身の回りの数量の関係について表現できた。 ・ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、積極的に発表しようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 7 【知識及び技能】 同等比較と倍数比較の表現 【思考力、判断力、表現力等】 ・同等比較と倍数比較の表現を使って、身の回りの数量の関係について表現できる。 ・食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グランド英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 同等比較と倍数比較の表現を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同等比較と倍数比較の表現を使って、身の回りの数量の関係について表現できた。 ・食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、積極的に発表しようとしていた。	○	○	○	2
	定期考査								○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	発	書					
3 学 期	Lesson 11 【知識及び技能】 関係代名詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・オリジナル製品のアイディアについて、関係代名詞を使って、論理的に発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 オリジナル製品のアイディアについて、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グラント英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 関係代名詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができた。 ・オリジナル製品のアイディアについて、関係代名詞を使って、論理的に発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 オリジナル製品のアイディアについて、積極的に発表しようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 12 【知識及び技能】 関係副詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係副詞を使って、時や場所について説明をすることができる。 ・おすすめの観光地について、その魅力を、関係副詞を使って相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 おすすめの観光地について、その魅力を、相手に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グラント英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○		○	【知識及び技能】 関係副詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係副詞を使って、時や場所について説明をすることができた。 ・おすすめの観光地について、その魅力を、関係副詞を使って相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 おすすめの観光地について、その魅力を、相手に伝えようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 13 【知識及び技能】 仮定法 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮定法を使って、自分の願望や、周りの人への助言をすることができる。 ・友達から受けた悩みの相談に対し、的確な助言をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 友達から受けた悩みの相談に対し、的確な助言をしようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I 新々総合英語 48グラント英文法 ・一人1台端末の活用 等 教材の提示 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 仮定法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮定法を使って、自分の願望や、周りの人への助言をすることができた。 ・友達から受けた悩みの相談に対し、的確な助言をすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 友達から受けた悩みの相談に対し、的確な助言をしようとしていた。	○	○	○	2
	定期考査								○	○	○	1
												合 計
												70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：茂木 尚子（2組：神津 忠寿（3組：神津 忠寿（4組：山本 愛）（5組：茂木 尚子（6組：山本 愛）（7組：神津 忠寿

使用教科書：（Enrich Learning English Communication Ⅱ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】基本的な語句、文法を用いて、社会的な話題について、概要や要点を論理性に注意して捉えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話し合うだけでなく、書いて伝え合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】社会的な話題について、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、基本的な語句、文法を用いて、必要な情報を聞き取り、話し手、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、目的に応じて表現することができる。	社会的な話題に関心を持ち、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
1 学 期	Unit 1 【知識及び技能】 助動詞＋完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の絶滅危惧種について、参照した情報を基に重要な点を簡潔に整理して、聞き手にわかりやすく詳細を話して伝える。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅱ ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞＋完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の絶滅危惧種について、参照した情報を基に重要な点を簡潔に整理して、聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えようとした。	○	○	○	10
	Unit 2 【知識及び技能】 ・受け身の不定詞、助動詞doによる強調を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を含めて自分の考えを詳細に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合う。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅱ ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・受け身の不定詞、助動詞doによる強調を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を含めて自分の考えを詳細に伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合った。	○	○	○	8
	定期考査		○			○		○	○		1
	Unit 3 【知識及び技能】 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験・経験を基に、事実と意見を区別して、詳細を整理して書く。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体験・経験を基に、情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅱ ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験・経験を基に、事実と意見を区別して、詳細を整理して書いた。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体験・経験を基に、情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとした。	○	○	○	10
	Unit 4 【知識及び技能】 強調構文、関係副詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特定の発明品が世の中にどの程度影響を与えたのかについて、事実と意見を区別しながら話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の発明品が世の中にどの程度影響を与えたのかについて、聞き手に納得してもらえるよう、事実と意見を区別しながら、詳細をわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅱ ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 強調構文、関係副詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 特定の発明品が世の中にどの程度影響を与えたのかについて、事実と意見を区別しながら、詳細をわかりやすく伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の発明品について、それが世の中にどの程度影響を与えたのかについて、聞き手に納得してもらえるよう、事実と意見を区別しながら、詳細をわかりやすく伝えようとした。	○	○	○	10
	定期考査		○			○		○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
2 学 期	Unit 5 【知識及び技能】 接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ギャップ・イヤーの普及について，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ギャップ・イヤーの普及について，自分の意見を伝えるために，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書こうとしている。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ギャップ・イヤーの普及について，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書いた。 【学びに向かう力、人間性等】 ギャップ・イヤーの普及について，自分の意見を伝えるために，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書こうとした。	○	○	○	12
	Unit 6 【知識及び技能】 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アンケートについて，回答結果を基に，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 アンケートについて，回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 アンケートについて，回答結果を基に，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 アンケートについて，回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えようとした。	○	○	○	12
	定期考査		○			○		○	○		1
	Unit 7 【知識及び技能】 受け身の進行形，be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話す。 【学びに向かう力、人間性等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合おうとしている。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身の進行形，be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合おうとした。	○	○	○	11
	Unit 8 【知識及び技能】 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で詳細を伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合おうとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	Unit 8 【知識及び技能】 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で詳細を伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合おうとした。	○	○	○	11
	定期考査		○			○		○	○		1

[illegible]

年間授業計画

都立雪谷 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 英語 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 7組

教科担当者：(21A 神津)(21S 遠藤)(2AA 山本)(2BA 遠藤)(2CA 茂木)(22S 茂木)□3S 山本(24S 遠藤)(25S 神津)(26S 茂木)(27S 山本)

使用教科書：(EARTHRISE English Grammar in 24 Stages, 新・英語の構文150)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを：

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson17, 18, Extra Lesson2 【知識及び技能】 分詞 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を使って、身の周りの物事について詳しく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りのニュースについて、適切に説明することができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages EARTHRISE アースライズ総合英語 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II Focus on Listening Standard ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	Lesson17, 18, Extra Lesson2 【知識及び技能】 分詞の表現が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を使って、身の周りの物事について詳しく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りのニュースについて、適切に説明することができる。	○	○	○	4
	Lesson19, 20, 21 【知識及び技能】 関係詞 【思考力、判断力、表現力等】 周りの人や物について、関係詞を使って表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来住みたい場所について伝えることができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages EARTHRISE アースライズ総合英語 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II Focus on Listening Standard ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	Lesson19, 20, 21 【知識及び技能】 関係詞の使い方が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 周りの人や物について、関係詞を使って表現することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 将来住みたい場所について伝えることができた。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
	Lesson22, 23, Extra Lesson4 【知識及び技能】 比較 【思考力、判断力、表現力等】 様々な比較表現を使って、数量の比較の表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数量の比較等のデータについて伝えることができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages EARTHRISE アースライズ総合英語 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II Focus on Listening Standard ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	Lesson22, 23, Extra Lesson4 【知識及び技能】 比較の表現が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な比較表現を使って、数量の比較の表現ができた。 【学びに向かう力、人間性等】 数量の比較等のデータについて伝えることができた。	○	○	○	4
	Lesson24, Extra Lesson5 【知識及び技能】 仮定法 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法の表現を使って、願望や助言を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題や社会問題等の解決策について議論できる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages EARTHRISE アースライズ総合英語 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II Focus on Listening Standard ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	Lesson24, Extra Lesson5 【知識及び技能】 仮定法の表現が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法の表現を使って、願望や助言を表現できた。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題や社会問題等の解決策について議論できた。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（1 組：木之下 敬）（2 組：遠藤 浩司）（3 組：鈴木 洋子）（4 組：加藤 正紀）（5 組：木之下 敬）（6 組：鈴木 洋子）（7 組：加藤 正紀）

使用教科書：（ Enrich Learning English Communication Ⅲ Cutting Edge Green ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】多様な語句、文法を用いて、社会的な話題について、概要や要点を論理性に注意して捉えることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話し合うだけでなく、書いて伝え合うことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】社会的な話題について、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。	社会的な話題について、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。また、論理的に詳しく書いて伝えることができる。	多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して会話を発展させることができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	Unit 1 【知識及び技能】 共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりするための適切な表現や方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 心理学や学習科学に関連した雑誌記事やウェブの記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 よくある勉強の悩みについて、共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりして、情報を詳しく話して伝え合おうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅲ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○		【知識及び技能】 共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりするための適切な表現や方法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 心理学や学習科学に関連した雑誌記事やウェブの記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉えた。 【学びに向かう力、人間性等】 共感の気持ちを示し、助言を行い、情報を詳しく話して伝え合おうとした。	○	○	○	5
	Unit 2 【知識及び技能】 AIの進化と社会に与える影響について学ぶ。接続詞を用いた複数の段落から成る論説文の形式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人工知能が教育にもたらす利点について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 人工知能が教育にもたらす利点について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に書いて伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅲ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○		○	【知識及び技能】 接続詞を用いた複数の段落から成る論説文の形式を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 人工知能が教育にもたらす利点について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に書いて伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 人工知能が教育にもたらす利点について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に伝えようとした。	○	○	○	5
	Unit 3 【知識及び技能】 文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学ぶ。民話で使われる文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民話を自分なりに解釈して読んだことを基に、聞き手にわかりやすく変更した民話の内容を詳しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 民話を自分なりに解釈して考えを深めるために、聞いたり読んだりしたことを基に、民話の内容を伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication Ⅲ ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○		【知識及び技能】 文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学び、民話で使われる文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 民話を自分なりに解釈して、聞き手にわかりやすく変更した民話の内容を詳しく伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 民話を自分なりに解釈して考えを深めるために、聞いたり読んだりしたことを基に、民話の内容を伝えようとした。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1

1 学 期	Unit 4 【知識及び技能】 「タイムカプセル」に残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考える。 【思考力、判断力、表現力等】 タイムカプセルで残したいものについて、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させる。 【学びに向かう力、人間性等】 タイムカプセルで残したいものについて、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication III ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 「タイムカプセル」に残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考えた。 【思考力、判断力、表現力等】 タイムカプセルで残したいものについて、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合った。 【学びに向かう力、人間性等】 タイムカプセルで残したいものについて、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させようとした。	○	○	○	4
	Unit 5 【知識及び技能】 2つの観点を対比しながら自分の意見を述べる論説文の構成や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 異文化の中で暮らすことの長所・短所について、2つの観点を対比しながら、意見や考えを論理的に詳しく書く。 【学びに向かう力、人間性等】 異文化の中で暮らすことの長所・短所について、2つの観点を対比しながら、意見や考えを論理的に詳しく書こうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication III ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 2つの観点を対比しながら自分の意見を述べる論説文の構成や表現を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 異文化の中で暮らすことの長所・短所について、2つの観点を対比しながら、意見や考えを論理的に詳しく書いた。 【学びに向かう力、人間性等】 異文化の中で暮らすことの長所・短所について、2つの観点を対比しながら、意見や考えを論理的に詳しく書こうとした。	○	○	○	4
	Unit 6 【知識及び技能】 芸術作品を描写したり、作品の感想を述べ合ったりするための適切な表現や方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 芸術作品を楽しみ、それぞれの感じ方の違いに気付くために、作品の描写や感想を即興で詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術作品を楽しみ、それぞれの感じ方の違いに気付くために、作品の描写や感想を即興で詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication III ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 芸術作品を描写したり、作品の感想を述べるための適切な表現や方法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 芸術作品を楽しみ、それぞれの感じ方の違いに気付くために、作品の感想を詳しく話して伝え合った。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術作品を楽しみ、それぞれの感じ方の違いに気付くために、作品の描写や感想を即興で詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとした。	○	○	○	4
	Unit 7 【知識及び技能】 問題と解決策を説明する論説文の構成や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な魚の現状について、その生態や問題、解決策を明らかにしながら、考えを論理的に詳しく書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な魚の現状について、その生態や問題、解決策を明らかにしながら、考えを論理的に詳しく書いて伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication III ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 問題と解決策を説明する論説文の構成や表現を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な魚の現状について、その生態や問題、解決策を明らかにしながら、考えを論理的に詳しく書いて伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な魚の現状について、その生態や問題、解決策を明らかにしながら、考えを論理的に詳しく書いて伝えようとした。	○	○	○	3
	定期考査		○			○		○			1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価基準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
2 学 期	Unit 8 【知識及び技能】 提案や異議を述べたり、意見を伝え合い、話し合いを帰結させたりするための適切な表現や方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校の命名権について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 学校の命名権について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合おうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication III ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 提案や異議を述べたり、意見を伝え合い、話し合いを帰結させたりするための適切な表現や方法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 学校の命名権について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合った。 【学びに向かう力、人間性等】 学校の命名権について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合おうとした。	○	○	○	4
	Chapter 1 【知識及び技能】 食事とCO2の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 研究者の報告書に関連した記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の食事と地球の環境の関りについて、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉え、情報を詳しく伝え合おうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Cutting Edge Green ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 食事とCO2の関係について理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 研究者の報告書に関連した記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉えた。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の食事と地球の環境の関りについて、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉え、情報を詳しく伝え合おうとした。	○	○	○	4
	Chapter 2 【知識及び技能】 必要水分量について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 医学研究所の報告を読み、信じられていた事象と科学的根拠に基づいた事実について、自分の考えを論理的に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 医学研究所の報告を読み、信じられていた事象と科学的根拠に基づいた事実について、自分の考えを論理的に伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Cutting Edge Green ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 必要水分量について学んだ。 【思考力、判断力、表現力等】 医学研究所の報告を読み、信じられていた事象と科学的根拠に基づいた事実について、自分の考えを論理的に伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 医学研究所の報告を読み、信じられていた事象と科学的根拠に基づいた事実について、自分の考えを論理的に伝えようとした。	○	○	○	4
	Chapter 3 【知識及び技能】 言語学の観点から、世界の言語の特徴や変遷を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 英語の変遷や世界中の言語の特徴や変遷について読んだことを基に、聞き手に内容をわかりやすく詳しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の変遷や世界中の言語の特徴や変遷について読んだことを基に、聞き手に内容をわかりやすく詳しく伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Cutting Edge Green ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語学の観点から、世界の言語の特徴や変遷を学んだ。 【思考力、判断力、表現力等】 英語の変遷や世界中の言語の特徴や変遷について読んだことを基に、聞き手に内容をわかりやすく詳しく伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の変遷や世界中の言語の特徴や変遷について読んだことを基に、聞き手に内容をわかりやすく詳しく伝えようとした。	○	○	○	3
	定期考査			○			○		○	○		1

[illegible]

年間授業計画

東京都立雪谷 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

外国語（英語） 科目 論理・表現Ⅲ

教科： 外国語（英語） 科目： 論理・表現Ⅲ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：茂木 ）（2組：加藤）（3組：加藤）（4組：木之下）（5組：加藤）（6組：木之下）（7組：木之下）

使用教科書：（FACTBOOKⅢ、Simple Skills for English Writing, Scramble, ドラゴンEnglish, Starting Line リスニング ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】自分の意見を的確に伝えることができるように、目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】自分の意見を的確に伝えることができるように、目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自分の意見を的確に伝えることができるように、日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Unit 1 単元 【知識及び技能】 緩やかに主題を導入する 【思考力、判断力、表現力等】 AIに将来とってかわられない職業の考察 【学びに向かう力、人間性等】 今後のAIとの付き合い方	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 緩やかに主題を導入できた。 【思考・判断・表現】 AIに将来とってかわられない職業の考察ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後のAIとの付き合い方を考えることができた。	○	○	○	5
	Unit 2 単元 【知識及び技能】 問題点を指摘する 【思考力、判断力、表現力等】 自分が成長した経験の共有 【学びに向かう力、人間性等】 海外で成功した日本人の紹介	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 問題点を指摘できた。 【思考・判断・表現】 自分が成長した経験の共有ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 海外で成功した日本人の紹介ができた。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	Unit 3 単元 【知識及び技能】 主旨を明示する 【思考力、判断力、表現力等】 ニュースサービスの利用状況の検証 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にグラフを活用	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 主旨を明示することができた。 【思考・判断・表現】 ニュースサービスの利用状況の検証ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にグラフを活用できた。	○	○	○	5
	Unit 4 単元 【知識及び技能】 引用をしながら説明する 【思考力、判断力、表現力等】 3Rの特徴を表現 【学びに向かう力、人間性等】 3Rの特徴を表現	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 引用をしながら説明できた。 【思考・判断・表現】 3Rの特徴を表現できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 3Rの特徴を表現できた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	Unit 5 単元 【知識及び技能】 一つの視点を示す 【思考力、判断力、表現力等】 キャッシュレス社会の利点 【学びに向かう力、人間性等】 クラウドファンディングの普及	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 一つの視点を示すことができた。 【思考・判断・表現】 キャッシュレス社会の利点を考察できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 クラウドファンディングの普及を考察できた。	○	○	○	4
	Unit 6 単元 【知識及び技能】 説明する・定義する 【思考力、判断力、表現力等】 食品添加物の摂取について 【学びに向かう力、人間性等】 自動運転車の是非	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 説明する・定義することができた。 【思考・判断・表現】 食品添加物の摂取について考察できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動運転車の是非を考察できた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	Unit 7 単元 【知識及び技能】 推測や解釈を示す 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化を多角的に考察 【学びに向かう力、人間性等】 生誕地の魅力を語る	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 推測や解釈を示すことができた。 【思考・判断・表現】 日本文化を多角的に考察できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 生誕地の魅力を語ることができた。	○	○	○	5
	Unit 8 単元 【知識及び技能】 効果を述べる 【思考力、判断力、表現力等】 各種エネルギーの比率の考察 【学びに向かう力、人間性等】 女性の就労率の年代別考察	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 効果を述べることができた。 【思考・判断・表現】 各種エネルギーの比率の考察ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 女性の就労率の年代別考察ができた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試対策			○	○	○	2
							合計
							70

外国語（英語） 科目 総合英語L

单位数： 2 单位

木之下

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を正確に理解するため、日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどの奥底まで理解できるようにする。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に把握できるようにする。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら相手の意図を読み取ることができるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを奥底まで読み取れるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Unit 1 単元 【知識及び技能】 緩やかに主題を導入する 【思考力、判断力、表現力等】 ギニアワームの実態 【学びに向かう力、人間性等】 Carter Center の世界的な貢献	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 緩やかに主題を導入できた。 【思考・判断・表現】 ギニアワームの実態が理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 Carter Center の世界的な貢献が理解できた。	○	○	○	5
	Unit 2 単元 【知識及び技能】 問題点を指摘する 【思考力、判断力、表現力等】 家族の絆 【学びに向かう力、人間性等】 様々な形の家族の絆	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 問題点を指摘できた。 【思考・判断・表現】 家族の絆を理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な形の家族の絆を考察できた。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	Unit 3 単元 【知識及び技能】 主旨を明示する 【思考力、判断力、表現力等】 光と目、脳の大きさ 【学びに向かう力、人間性等】 人類の進化の考察	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 主旨を明示することができた。 【思考・判断・表現】 光と目、脳の大きさを考察できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 人類の進化の考察ができた。	○	○	○	5
	Unit 4 単元 【知識及び技能】 引用をしながら説明する 【思考力、判断力、表現力等】 人間のエネルギー 【学びに向かう力、人間性等】 人体の脂肪の役割	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 引用をしながら説明できた。 【思考・判断・表現】 人間のエネルギーの仕組みを理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 人体の脂肪の役割を理解できた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	Unit 5 単元 【知識及び技能】 一つの視点を示す 【思考力、判断力、表現力等】 褒めることの重要性 【学びに向かう力、人間性等】 経営者の資質	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 一つの視点を示すことができた。 【思考・判断・表現】 褒めることの重要性を理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 経営者の資質が理解できた。	○	○	○	4
	Unit 6 単元 【知識及び技能】 説明する・定義する 【思考力、判断力、表現力等】 経営戦略 【学びに向かう力、人間性等】 経済の動きの難しさ	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 説明する・定義することができた。 【思考・判断・表現】 色々な経営戦略があるということが理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済の動きの難しさを考察できた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	Unit 7 単元 【知識及び技能】 推測や解釈を示す 【思考力、判断力、表現力等】 感染症の恐ろしさ 【学びに向かう力、人間性等】 コロナを通しての経験	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 推測や解釈を示すことができた。 【思考・判断・表現】 感染症の恐ろしさを理解できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 コロナを通しての経験から今後の展望を 考えることができた。	○	○	○	5
	Unit 8 単元 【知識及び技能】 効果を述べる 【思考力、判断力、表現力等】 睡眠の考察 【学びに向かう力、人間性等】 質の良い睡眠	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 上記参照 ・一人1台端末の活用 等 Forms による振り返り 視覚教材	【知識・技能】 効果を述べることができた。 【思考・判断・表現】 睡眠に関して考察できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 質の良い睡眠を理解できた。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試対策			○	○	○	2

70

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科 外国語 科目 総合英語

教 科： 外国語 科 目： 総合英語M 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 加藤 正紀 ）

使用教科書：（ Front Runner 2 ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】社会的な話題について、必要な文法を用いて、社会的な話題について、概要や要点を論理的に注意して捉えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題について、情報や自分の考えなどを論理的に注意して話し合うだけでなく、書いて伝え合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】社会的な話題について、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

科目 総合英語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
・多様なテーマに必要なフレーズ、イディオムの理解、新出単語や熟語を習得する。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。	・多様なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】
・多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて伝え合うことができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話「 や 」	話「 発 」	書					
1 学 期	Unit 1 ～Unit 3 【知識及び技能】 国際的な問題を表す表現、語句を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 雑誌記事やウェブの記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 国際的な問題を学び、互いに情報を詳しく話して伝え合おうとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通して学びを深める。 ・教材 Front Runner 2 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○		Unit 1 ～Unit 3 【知識及び技能】 国際的な問題を表す表現、語句を習得した。 【思考力、判断力、表現力等】 雑誌記事やウェブの記事から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を的確に捉えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 国際的な問題を学び、互いに情報を詳しく話して伝え合おうとした。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
	Unit 4～Unit 7 【知識及び技能】 文化人類学的な話題に関する表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化人類学的な内容を理解し、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 文化人類学的な内容について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に伝えようとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通して学びを深める。 ・教材 Front Runner 2 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○		Unit 4～Unit 7 【知識及び技能】 文化人類学的な話題に関する表現を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 文化人類学的な内容を理解し、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 文化人類学的な内容について、自分の考えを理由や根拠を示しながら論理的に伝えようとした。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話「 や 」	話「 発 」	書					
2 学 期	Unit 8～Unit 11 【知識及び技能】 環境問題に関する内容を読み、環境汚染に関する表現を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題に関する内容を読み、筆者の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題について、筆者の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合おうとする。	・指導事項 Think－Pair－Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通して学びを深める。 ・教材 Front Runner 2 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	○	Unit 8～Unit 11 【知識及び技能】 環境問題に関する内容を読み、環境汚染に関する表現を習得した。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題に関する内容を読み、筆者の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合うことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題について、筆者の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合おうとした。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1

2 学 期	Unit 12～Unit 15 【知識及び技能】 科学的な文章を読み、アレルギーに関する適切な表現や方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な文章について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 科学的な文章について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して自分の意見を伝え合おうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Front Runner 2 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○	Unit 12～Unit 15 【知識及び技能】 科学的な文章を読み、アレルギーに関する適切な表現や方法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な文章について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 科学的な文章について、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して自分の意見を伝え合おうとした。	○	○	○	6
	入試過去問題演習 【知識及び技能】 大学入試で問われる知識、文章の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、多角的な視点から意見を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、さらなる情報を得ようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 入試過去問題 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○	入試過去問題演習 【知識及び技能】 大学入試で問われる知識、文章の背景を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、多角的な視点から意見を持った。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、さらなる情報を得ようとした。	○	○	○	2
	定期考査		○				○		○	○		1
3 学 期	入試過去問題演習 【知識及び技能】 大学入試で問われる知識、文章の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、多角的な視点から意見を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、さらなる情報を得ようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 入試過去問題 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○	入試過去問題演習 【知識及び技能】 大学入試で問われる知識、文章の背景を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、多角的な視点から意見を持った。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試で問われている話題、テーマについて、さらなる情報を得ようとした。	○	○	○	2
										合計	70	